



なかっこだより

第5号

令和5年9月15日
多古町立中村小学校
校長 玉井 弥生

元気にひびく子らの声！ いざ学校！！

長い夏休みが終わり、少したくましくなった子供たちが体育館に集まった8月30日。「夏休みが終わって残念でしたか。」と問いかけると、「早く先生に会いたかった。」「学校に来てうれしい。」と、にこにこ答えてくれました。担任もにこにこしていました。教室には、夏休み中の頑張りが並べられ、先生に見せたり、お互いに見せ合ったりと、にぎやかな声が響いていました。子供たちの笑顔に元気をもらった1日でした。



命はひとつ。防災の日 = 9月1日 =

関東大震災発生からちょうど100年。子供たちには予告しないで地震想定避難訓練を行いました。リフレッシュタイム(休み時間)だったので、教室やトイレにいる子、外でサッカーをしている子、それぞれの場所でまず身を守り、その後は素早く集合することができました。10万人の命を奪った関東大震災。多古町の人口約13,600人と比べて、その多さにびっくりしていました。たったひとつの命を守るより、訓練はいっも真剣です。



一斉テスト

夏休み明けの一斉テスト。漢字と計算問題に集中して取り組みました。休み中に、たくさん練習を重ねて満点をとった子供たち。呼名されたときの返事もとても立派でした。努力をして自信をつけた姿に頼もしさを感じました。一生懸命やればやるほど、喜びも悔しさも大きくなります。悔しい顔の子供たちは、これをバネに次こそ、と思ってくれることでしょう。楽しみです。



夏草さっぱり！ 奉仕作業

ありがとうございました。

残暑というより、まだまだ真夏の暑さきびしい8月26日(土)。今年度2回目のPTA奉仕作業が行われ、今回も多くの方々が参加してください。学校中をきれいさっぱり整備してくださいました。

